



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
URL <http://tia21.or.jp>
E-mail tia@tia21.or.jp

2007
autumn

11 No. 101



やあ!特集

とちぎインターナショナル

フェスティバル2007

ようこそとちぎへ

県国際交流員

ケント・マレンさん(アメリカ)

ラバイ・ジャメルさん(フランス)

平成19年度海外技術研修員

カンボジア料理「チャールッパウ」

世界をペロリ

心に残る私の写真

JICA教師海外研修2007参加の
4名の先生たち

レポート

「マレーシア訪問記」

世界のスイーツ

SWEETS

～マレーシア編～



マレーシアのクアラルンプールのシンボルとなっている高さ452mのツインタワーとしては最高峰のペトロナスツインタワー。そのシンボルタワーをかたどったチョコレートは、お土産品としてマレーシアで作られている。実はマレーシアはカカオの生産地で、チョコレート製造も盛んなのだ。



ケント マレンさん (24歳)

KENT MULLEN

プロフィール

栃木県はアメリカ・インディアナ州と姉妹都市。アメリカの国際交流員として国際課で8月より仕事をしています。アリゾナ州フェニックス市出身。

一初めまして。日本はどんな印象ですか？

ケント 大学で経済学と日本語を専攻していて、4年生のときに休学して、埼玉県川越市にある大学に8ヶ月間留学し、日本の大学生活を送りました。寮生活だったので、学生と寝食を共にし、留学のときは、まだ自分自身も学生だったこともあり、あまり特別な意識もせずに遊んでいたという感じでした。日本人の学生といろいろなところに遊びに行き、さまざまな活動にも参加しました。今回は、そのときの感覚とはまるで違うと思います。社会人として仕事をしているので、接触する人たちが学生時代とは違って、幅広い層ですし、また友人からも多くのことを学べます。

一大学卒業後は、どんなことなされてたんですか？

ケント 大学卒業後はハイキング会社に就職し、新しく開発したアウトドアグッズやジャケットを外で、テストする検査の仕事に従事してました。いわゆる耐用試験です。この仕事はそれなりに楽しかったです。実は国際交流員で日本へ行くということは決まっていたんですが、1年間ほど時間があつたので、自分で興味ある仕事をしていました。もともとアウトドアが好きだったので、趣味と実益を兼ねてって感じですかね？(笑)

一栃木県での生活はいかがですか？

ケント 栃木県の人個人で独立している人が多いという印象ですね。具体的にいうと、車もあるし、農家も多いですね。埼玉で留学生生活を送っているときは車を持っている人が少なかつ

たので、公共交通機関を使うのが当たり前だと感じていました。栃木の人のほうが、視野も広いですし、自分で何かをするという点から見るとアメリカと似ていると思います。もう一つ、母国アメリカと似ている点は、宇都宮は「ジャズの街」でカクテルバーが多いということです。このような雰囲気の街は好きですね。私自身もジャズが好きで、故郷のフェニックスはラスベガスにも近いせいもあって、ジャズが盛んな街でもあるんです。ラスベガスに住んでいる人は、歳を取ってからはフェニックスに住んで、ジャズを続けながら余生を送るなんて人も多いですよ。逆に、困ったことは、ごみの分別ですね。アメリカではそれほど細かく分けてないので、慣れるのはなかなか難しいです。一人暮らしもアメリカにいる頃もしたことはありますが、勝手がちがうのでなかなかうまくいきません。自炊も新しい料理を作るのは難しいので、簡単に調理できるものでさせてます。日本ではインスタント食品もいろいろ研究されていて、種類も多くて結構おいしいですね。特に味噌汁はかなりいけますよ。(笑)

▲アウトドア会社で働いていた頃のケントさん

一ケントさんの栃木県での抱負をお聞かせください。

ケント アリゾナ州には多くのネイティブアメリカン(アメリカ先住民族)やメキシコ系アメリカ人がたくさんいます。彼らの文化、生活はすばらしいものがあるので、ぜひ紹介したいと思います。私が昔、感じたようなカルチャーショックを受けている人もいると思うので、そういう人たちの助けをあげたいなと思っています。また、日本の文化をもっと学びたいと思っています。日本の伝統的な文化に興味があるのは、「流鏝馬」です。どこかでできるところや教えてくださるところがあれば、ぜひ教えてください。



ラバイ ジャメルさん (26歳)

RABAHI DJAMEL

プロフィール

フランス・パリ近郊のルプレサンジェルバ出身。フランス国際交流員として、ケントさんと同じく8月より着任。アルジェリア人の父とフランス人の母を持つ。

一初めまして。日本に興味を持ったのはいつですか？

ジャメル 高校2年生のころ、日本の漫画やテレビゲーム、特にドラゴンボールがはやってました。その頃から日本に興味を持ち始めて、たまたま日本語を教える協会があり、勉強を始めました。最初は全部ローマ字だけのテキストでした。でも3ヶ月くらいでやめちゃいました。というのも学費が高かったの(笑)。その後、市役所の主催する多言語の語学講座で、半年勉強しました。その後は更に勉強するため、パリ第7大学東南アジア言語学部日本語学科で勉強しました。大学入学当初は、日本語を習ったことが以前あったので、大変簡単に感じていましたが、半年ぐらいうると日本文化、文学、社会学など深く勉強するようになったため、かなり難しくなりました。文学の分野では村上春樹の作品なども研究して興味がわき、4年の時に上智大学にも留学しました。

一そうなんですか。日本は慣れているという感じがですね。

ジャメル 今は日本の生活習慣にも慣れましたが、最初日本に留学に来た頃は、毎日が驚きの連続でしたよ。まずびっくりしたのはお風呂の使い方が違っていったことです。

フランスでは、一回一回、お風呂のお湯を入れ替えるのが当たり前

ですが、日本では、みんなが同じお湯につかるというのが最初は信じられませんでした。こういう入り方をするのだと教えられました。食べ物についてもみなさんは大好きかもしれない「うなぎ」が食べられませんでした。なんとなく蛇をイメージしてしまって…(笑)。

一なるほど。栃木県の印象はどうですか？

ジャメル 栃木県は日本の地方都市なので、あまり町自体には魅力がないと感じていますが、栃木県は自然の美しい県だと思います。那須へ行きましたがすばらしかったです。それと食べ物がおいしいですね。友人が欲しくて、宇都宮市内の戸祭にあるバドミントンクラブに入ったのですが、まだ、あまり知り合いはできていません。たぶん、やり始めるとスポーツのほうに熱中しちゃう人が多いからじゃないかなと思います。でも今後は、職場の人ややさしいので、飲み会に誘ってくれるかもしれないですね(笑)。

▲ジャメルさんのお母さんと

一結構活動的なんですね。栃木県でこれからしてみたいことはありますか？

ジャメル ハイキングや山登りしたり、歩くのが好きなので、たくさん山登りしてみたいですね。実はもう山登りはしてきました。栃木県の南にある大平山には登りました。それから、できたら那須でカヤックやカヌーをやりたいです。すぐ興味があるので。それと小学校や中学校での国際理解活動として、フランスの子どもの遊びを紹介したり、フランスの学校の1日の流れを説明したり、意外と知られてないかもしれないですが、フランスは、古くからの多民族国家であり、また歴史的な移民の国なので民族の移民を通じた歴史についても話したいです。また、これは大人の方が対象となるかもしれませんが、フランス映画を見ながら、映画を通じて「フランスはこんなところなんだ。」と新たな発見ができるような紹介活動してみたいと思います。

平成19年度 栃木県海外技術研修員

平成19年度の栃木県海外技術研修員5名が9月5日に来県しました。研修員は日本語研修を修了し、現在各研修機関で専門研修をしています。来年3月中旬に帰国予定です。

①氏名 ②性別 ③国籍 ④年齢 ⑤推薦機関 ⑥研修科目
⑦研修機関



①大貫 ミシェーリ Onuki Michelle
②女 ③ブラジル連邦共和国
④27歳 ⑤在伯栃木県人会
⑥セキュリティ
⑦北関東総合警備保障株式会社



①セン ブナリー Seng Bunnary
②女 ③カンボジア王国
④39歳 ⑤JICA
⑥家畜衛生
⑦栃木県県央家畜保健衛生所



①劉 瑜 Liu Yu
②女 ③中華人民共和国
④30歳 ⑤浙江省人民政府
⑥環境管理と企画
⑦栃木県環境森林部環境保全課



▲栃木県知事表敬



①魏 海龍 Wei Hai Long
②男 ③中華人民共和国
④33歳 ⑤浙江省人民政府
⑥林業 ⑦栃木県林業センター



①鄭 偉年 Zheng Wei Nian
②男 ③中華人民共和国
④37歳 ⑤浙江省人民政府
⑥農業 ⑦栃木県農業試験場

世界をペロリ

このコーナーでは世界のおいしい食べ物をレシピ付きで紹介しします。

カンボジア料理「チャールッパウ」

材料(3~4人分)

かぼちゃ 500g
にんにく 2かけ
ひき肉 500g
卵 3個
砂糖 少々
塩 少々
サラダ油 40g
万能ねぎ お好みで



今回、料理を作ってくれたのは、カンボジア出身の海外技術研修員のセン・ブンナリーさん。かぼちゃと卵を使った家庭料理を紹介してくれます。



▲カボチャの卵とじ「チャールッパウ」



①カボチャを生のまま、細く棒状に切る。にんにくは、みじん切りにしておく。



②フライパンで、にんにくをキツネ色になるまで炒める。さらに、ひき肉を加え炒めながら、塩、砂糖で味を調える。



③ここで、先ほど切って準備しておいたカボチャを入れて炒める。しんなりしてきたら、水を加えてやわらかくなるまでふたをして蒸らす。



④フライパンに卵とじを作る時の要領で、卵を溶いたものを入れながら、少し蒸らし、卵が固まったら、お好みで万能ねぎを加えて完成。

とちぎインターナショナル フェスティバル2007



みなさんお楽しみのビッグイベント「インターナショナルフェスティバル」が今年も栃木県子ども総合科学館で10月6日（土）に開催されました。毎年恒例の外国の踊りや歌を披露するステージ、そして所狭しと出展された試食コーナー、民族物産販売コーナーと盛り沢山の内容で実施しました。今年は天候がよく、約5,000人の来場者があり、外国の方もたくさん訪れました。また、ご協力いただいた国際交流・国際協力団体の皆さま、本当にお疲れ様でした。



▲パトリアバリーダンスグループのみなさんの踊り。会場に入りきれず外からご覧になる観客の方もいらっしゃいました。



▲インドネシア舞踊。特に今回はジャワの舞踊を披露。珍しいマスクにびっくり。



▲宇都宮S G Gの綿あめは、子どもたちに大好評。一時は長蛇の列ができたほどでした。



▲着物を着ての茶道教室。外国の方も参加されました。



▲喜連川日中友好協会の餅つき。今年は女性の方が餅つきに参加。なかなかのものでした。

とちぎ国際ナショナルフェスティバル2007 TOCHIGI INTERNATIONAL FESTIVAL 2007



▲栃木フィリピン協会の皆さんのショータイム。すばらしいキャンドルショーでした。



▲ナンカマさんによるアフリカ音楽。パーカッション主体の音楽に引きこまれ、最後はみんなで思わずダンシング。



▲子どもたちによる歌と踊りのプラチナ国際ナショナルスクール。かなりのものでした。



▲宇都宮はジャズの街。ミュージックノーツのみさんによるジャズのミニコンサートにうっとり。



▲とちぎ奨学生の試食コーナー。民族衣装でお出迎え。



▲ネパールカレーのブースもなかなかの人気。鶏肉がとろとろで大満足。



▲米国インディアナ州めがけてのダーツゲーム。ダーツ好きには好評。



▲国際協力機構（JICA）の参加型ブース。「児童労働」がテーマ。



▲みなさまのご来場、ありがとうございました。



▲JICA教師海外研修2007に栃木県から参加された4名の先生

写真を提供してくれたのは、JICA教師海外研修2007で今年の8月にカンボジアを訪れた4名の先生方です。JICA教師海外研修とは、国際理解教育に興味のある教員を対象に、短期の開発途上国での研修を行うプログラムで、帰国後は研修で得られた経験をもとに、実際の教育現場で国際理解、開発教育に関する授業を実践していくというものです。今回と次回（3月号）の二回にわたり、4名の先生がカンボジアで体験し、印象深かった写真を紹介していただきます。

TSMC (医療技術者育成学校)

日本の援助で建てられた医療技術者育成学校でTSMC (TECHNICAL SCHOOL MEDICAL CARE) と現地で呼ばれています。ここでは、看護師、理学療法士、臨床検査技師、放射線技師などを養成しています。医療の不備が課題の一つであるこの国で学生はみな「祖国の医療の充実のために」と、真剣に勉強しています。(写真提供：佐野市立出流原小学校印出知子教諭)



「トライドムライ」という魚

写真はトライドムライという魚を料理したものです。この魚はメコン川の川底に生息している魚で、淡白で繊細な味でたいへんおいしいです。カンボジアでは、おばあちゃんが死ぬとこの魚に生まれ変わるといわれているそうです。ちなみにカンボジアの人々はあまりから辛いものを好みません。カンボジア料理は薄味で野菜も豊富で食べやすいものが多かったです。

(写真提供：二宮町立久下田中学校 古澤美由起教諭)

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。
詳しくは、協会までお問合せください。(☎028-621-0777)

レポート/REPORT ～マレーシア訪問記～

知っていましたか？ 栃木県とマレーシアのこんなつながりを…。2007年8月26日～9月1日にとちぎテレビ、下野新聞社の記者と共にマレーシアを訪れ、栃木県に縁のある方々を追跡してきました。同行したのはJICA栃木デスクと大田原市出身の青年海外協力隊マレーシア環境隊員OBの屋代英二さんです。今回は、「マレーシア訪問記」と題して、屋代さんにマレーシア訪問の日程及び感想を綴ってもらいました。

1日目 7月に栃木県青年会館にてJICA青年研修プログラムを行ったマレーシア人メンバーと再会。JICA東京国際センターで別れてからまだ1ヶ月しか経ってないのにとても懐かしい感じがしました。昼食後、マレーシア青年追跡取材の代表としてユスマザー氏の職場＜地方開発センター＞を訪問し、インタビュー。「日本の日常の姿をみているだけでも勉強になりました。その気づきをこれからマレーシアにフィードバックしていきたい」と今回の栃木県での研修を振りかえってくれました。ユスマザー氏は職場でも信頼と人気があり、さわやかで人懐っこい笑顔が印象的でした。またいつかきっと会えることでしょ。その夜は地元NGOを訪れてマングローブと蛍との関係・環境保全のレクチャーを受けました。自然が大好きな地元のガイドの方、環境教育隊員の自分としてもとても共感するものがありました。自然界・生態系のバランスを崩さないよう考慮した開発。当然といえば当然ですが、実行することがなかなかうまくいかないこのご時世。そんなことを思いながらふと、せわしく発光する蛍たちをみると通常は美しく思われるだろう光が、何か人類に警告している



▲陽東小学校からのビデオレターを観るマレーシアの子もたち

ような不思議な夜でした。

2日目 いつの間にか服の中に侵入していた蛭たち、家族を守るために私たちグループを威嚇してきた猿の一家におびえながらも、かつてJICAプロジェクトも入っていたキャノピーウォークを体験しながら熱帯雨林、森林遺産への理解を深めました。かけがえのない自然の大切さをみんなに伝えたいというスタッフに出会ったひと時でした。この日の午後は、パーム油のプランテーションなどの影響による森林伐採などで親をなくしたり、はぐれたりしたオランウータンを保護し、森で自立できるように訓練するリハビリテーションセンターを視察しました。栃木の皆さん！ご存知ですか？宇都宮動物園でもオランウータンのリュウくんが生活しているのです。どうして宇都宮にきたのでしょうか。興味ある方はぜひ宇都宮動物園へ！

3日目 歴史的にも大変日本とつながりが深い土地ボルネオ島・サンダカンで活動中の栃木県養護学校から現職派遣中の吉田澄江隊員を訪ね、吉田隊員の呼びかけにより配属先が中心になって開いた＜地元住民と施設利用者との交流イベント＞を視察。日本の若者がいかに草の根レベルで国際協力を行っているか、協力隊員の活動がその地域にどのような影響を与えているかを触れることができました。



▲現地でインタビューを受けるのぞ養護学校の吉田澄江さん

4日目 パームオイルのプランテーション開発が想像以上に進められているボルネオの森を空の上から眺めながら、私の第二の故郷、サラワク州ミリ市へ。活動先の一つであったとコロンバ小学校を訪問し、私のコーディネートで始まった6月から学校交流を進めている宇都宮市陽東小学校からのビデオレターを届けました。私以外の日本人もミリ市で交流を深めてほしい、そういう思いでミリ市とマレーシアを後にしました。

TIAでドイツ人企業実習生受入れ



今年は「ハロージャパン2007」というインターンシップ、ホームステイプログラムがありました。とちぎ日独協会からTIAも依頼を

受け、ベルリン出身のフンボルト大学生アンネ・ベルガーさんを8月21日(火)～9月7日(金)まで受入れ、外国人相談業務やライブラリーの貸し出し業務、センターの受付業務などを実習してもらいました。アンネさんは日本語のほか英語も堪能なので、日本文化のドイツ語、英語への翻訳も行い、またTIAの開催する各種講座にも参加し、ドイツの現状を話したり、参加者と共に学ぶなど、多くの研修成果をあげて帰国しました。

「わいわい地球っ子クラブ」～アパカバー マレーシア～

小学生の国際理解を目的としてわいわい地球っ子クラブが9月8日(土)にとちぎ国際交流センターで行われた。今回のテーマはマレーシア。国立小山工業高等専門学校のマレーシア出身のエンセム・ウォン・シュ・センさんをゲストとし、24名のわいわい会員が参加した。



初めに、マレーシアを知ろうということで、パワーポイントを使いながら、クイズ形式でわかりやすくマレーシアの文化などのお話をしたあとは、工作の時間。パパンチヨンカというマレーシアの伝統的なゲームを手作りし、2人1組になって、実際にゲームをして楽しんだ。



日本語を教えよう！STEP 1 (真岡市)

外国人支援の一環としてボランティアによる日本語教室の拡充を目指すため、日本語を教えてみたい初心者を対象とした講座が、今年は、TIAと真岡市の主催で、6月28日(木)～8月9日(木)までの毎週木曜日(全6回)に行われた。講師はフリーアナウンサーで日本語教師でもある白井佳子氏。外国人の多い地域ということもあって熱心な受講者が多く、大変盛況でした。



国際理解への扉 国への感謝



9月14日、前日に語学研修を終えたばかり！という青年海外協力隊員の6名が栃木県庁を訪問しました。栃木県知事より、「自分の健康に留意し目的を最大限達成できるように頑張ってください。」と激励をいただきました。表敬訪問後は恒例となっている青年海外協力隊ととちぎ応援団による壮行会にも出席しました。隊員のご家族も交えたなごやかな会となり、出発前の心境や抱負を語ってくれました。

●木村利江子さん(インドネシア、日本語教師)

観光高等専門学校の日本語教育に従事します。栃木県のこともたくさん紹介していきたいと思います。

●富田恵さん(ニジェール、幼児教育)

ニジェールの未来を担う子どもたちのために、少しでも力になれたらと思っています。いっぱい遊んで、笑顔の花をいっぱい咲かせてきます！

●森田理恵さん(ミクロネシア、環境教育)

私の活動が現地の人々のヒントになればいいと思います。楽しく元気に健康に頑張ります！

「栃木から行ってきます！」

●黒田菜穂子さん(マラウイ、栄養士)

HIVポジティブの方々と向き合っており、マラウイの方々の栄養状態を1人でも多く改善していきたいです！

●人見洋さん(フィジー、測量)

現地の方々と楽しく仕事をしていきたいと思っています

●薄羽利光さん(ジブチ、コンピュータ技術)

コンピュータの魅力を伝えるとともに、国の発展に少しでも貢献したいです。

隊員6名は19年2次隊として9月24日、25日に各国に向けて出発しました。それぞれの熱い思いが形になることを願って、体に気をつけて行ってらっしゃい！



「JICA栃木デスク3代目が着任しました！」

みなさんこんにちは、そしてはじめまして！栃木県国際協力推進員(JICA栃木デスク)3代目として着任しました知久志穂子です。7月14日にメキシコでの青年協力隊活動を終えて帰国しました。まだ、メキシコから日本への環境の変化に戸惑っていますが、パワーアップした栃木県を拠点に栃木の特徴を生かした国際理解・協力の輪が広がるように、フットワークも軽くがんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

とちぎTV とちぎテレビ デジタルのうた

楽しくいきましょ 作・つれすけくん

ひろが〜る ひろげ〜る デジタ〜ル

とちぎテレビのデジタルリモコン番号は3チャンネルです。

2007年12月<予定> 足利中継局地上デジタル放送スタート!

2008年3月<予定> 今市・馬頭中継局地上デジタル放送スタート!

第84回定期演奏会

栃木県交響楽団

2008年2月3日(日)午後2時開演(1時30分開場)宇都宮市文化会館大ホール

〈演奏曲目〉

- ショスタコーヴィッチ 祝典序曲
- クーセヴィツキー コントラバス協奏曲
- ラフマニノフ 交響曲第2番

〈指揮〉 井崎 正浩

〈コントラバス〉 増山 一成

全自由席 ¥1,500円(前売1,200円) 電子チケットぴあ 発売12月2日
お問い合わせ 栃響事務局 ☎028-643-5288

TIAの国際理解クラブ 会員大募集!!

高校生のための

● Club lycée

国際的視野を身につけよう!!

活動内容 参加型セミナー、外国人との交流など

活動日 年6回程度

年会費 無料

小学3～6年生のための

● わいわい地球っこクラブ

同じ地球で生活する仲間として、一緒に世界を学ぼう!!

活動内容 ゲーム、料理、工作、外国人との交流など

活動日 6・9・12・3月の第2土曜日

年会費 1,000円

お問合せ (財)栃木県国際交流協会
☎028-621-0777

賛助会員募集 !!

(財)栃木県国際交流協会(TIA)では、賛助会員を募集しています。皆さまからの賛助会費は、TIAの様々な事業に使わせていただき、地域の国際化に役立っています。

会員の特典: ●TIA主催・共催等の各種イベントやセミナー等の情報提供。●TIAニュース「やあ!」を年4回送付。●会員証の提示により指定店の旅行企画商品および海外旅行用品の割引●ビデオ録画方式変換(海外⇄日本)の無料サービス●団体賛助会員には、とちぎ国際交流センター利用の場合、予約は2か月前から先行受付(通常は1か月前より受付)。

年会費:個人 3,000円
団体10,000円
法人30,000円

TIA法律・精神保健相談のご案内

TIAでは、通常相談のほかに、下記のとおり、栃木県弁護士会、栃木県精神保健福祉センターとの協力を得て、弁護士による法律相談及び、専門職員による精神保健相談を行っております。

外国の方や外国の方との関わりでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。相談は相談専用の個室で行われ、秘密は厳守いたします。

どちらも無料で、予約が必要です。

※法律相談

毎月第1火曜日 10:00～12:00

※精神保健相談

毎月第1・3火曜日 15:00～16:00

外国語の対応はご相談ください。

相談のお問合せ(相談専用電話)

☎028-627-3399

栃木県国際交流協会 事業案内 Tochigi International Association(TIA)

～とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室は
どなたでも気軽にご利用できます～

■ 相談事業

在県外国人また県民の皆さまの国際交流・国際協力に関する相談に、専門の相談員が応対

■ 機関紙の発行・情報提供

TIAニュース「やあ!」や在県外国人向け外国語情報紙の発行
とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

■ 各種イベント・講演会

国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

■ TIA協力者バンク

ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、トランスレーターバンクの運営

■ とちぎコミュニケーションネットワーク(TCN)

在県外国人のネットワーク。イベント等の情報提供、国際理解講座等への協力

*この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。

*会議室等の施設利用についてはご相談ください。(国際交流、国際協力などの会議等)

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄付金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

〈人事異動のお知らせ〉

事務局長沢田正和が退任し、内山昭夫が事務局長に就任。
臨時補助員として、新たに猪瀬あさひが加わった。

ツーリストのギフトカード **Bway**
全国共通ギフト券
デパート・スーパー・専門店 レストラン 旅行
500円券 1,000円券 5,000円券



knt!
近畿日本ツーリスト

国土交通大臣登録旅行業第20号
☎(社)日本旅行業協会会員

宇都宮支店
☎028-633-2141

〒320-0801 宇都宮市池上町2-2(中村第一ビル1F) 営業時間/月～日 10:00～18:00(休業日・祝日)

TIAご案内図



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業務時間 8:30～17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日